

3) 窒素肥効評価法の詳細について

本リストで掲載している速効性窒素や緩効性窒素等は、新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 課題番号 18053「農業環境規範に適合する家畜ふん堆肥の肥効評価システムの確立」により開発された手法により評価しています。

評価法の考え方や利用方法の詳細は「主な家畜ふん堆肥の窒素肥効と利用方法」<http://taihi.dc.affrc.go.jp/doc/> を参照してください。

留意点

開発された窒素肥効評価法では牛ふん堆肥、豚ふん堆肥、鶏ふん堆肥(採卵鶏、副資材なし)を対象に開発しています。

今回のリストでは、対象外となる畜種混合堆肥は、主体的な原料から牛ふん堆肥か鶏ふん堆肥の方法により、種鶏・ブロイラー・副資材入りの鶏ふん堆肥は、副資材がない採卵鶏ふん堆肥の方法により掲載しています。

また、A D可溶有機物 250mg/g 以上の牛ふん堆肥の水稻基肥窒素と穂肥窒素の解説はありませんが、基肥は速効性窒素と緩効性窒素 2 割とし、穂肥窒素は緩効性窒素の 8 割として掲載しています。